

## 令和5年度学校管理職等特別研修会 子どもを主語にする学校をつくる

2023/11/29 荒瀬 克己



独立行政法人教職員支援機構

この時間の予定 14:05～15:35～15:55

1. 少し長い自己紹介
2. 視座について考える(思索の時間)
3. 自立した学習者に育てる  
令和3年・4年答申／学習指導要領「前文」
4. 豊かな学びの場をつくる(思索と対話の時間)  
目標－現状＝課題  
現状はどうか？ 課題にどう取り組むか？
5. 「教育へのリスペクト」
6. 質疑応答(15:35～15:55)

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～ (答申)

2021(令和3)年1月26日

第I部 総論  
はじめに

……ここでは、ICTの活用と少人数によるきめ細かな指導体制の整備により、「個に応じた指導」を学習者視点から整理した概念である「個別最適な学び」と、これまでも「日本型学校教育」において重視されてきた、「協働的な学び」とを一体的に充実することを目指している。

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～ (答申)

2021(令和3)年1月26日

第I部 総論  
はじめに

さらに、これを踏まえ、各学校段階における子供の学びの姿や教職員の姿、それを支える環境について、「こうあってほしい」という願いを込め、新学習指導要領に基づいて、一人一人の子供を主語にする学校教育の目指すべき姿を具体的に描いている。

今日、一緒に取り組みたいのは、  
いくつかの重要とされていることについて、  
あらためて考えることです。  
答えが出るとよいのですが、  
出るかどうか、  
そもそも答えがあるのかどうか、  
わたしにはわかりません。

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）  
2021（令和3）年1月26日

第Ⅰ部 総論  
はじめに

新型コロナウイルス感染症対策に伴い臨時休業が行われる中、学びを保障する手段としての遠隔・オンライン教育が注目されるとともに、教師による対面指導や、子供同士による学び合い、地域社会での多様な体験活動など、リアルな体験を通じて学ぶことの重要性も改めて注目された。子供たちを支える伴走者である教師には、ICTも活用しながら、個別最適な学びと協働的な学びを充実し、子どもたちの資質・能力を育成することが求められる。

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）  
2021（令和3）年1月26日

第Ⅰ部 総論

3. 2020年代を通じて実現すべき「令和の日本型学校教育」の姿

(2) 教職員の姿

○ 教師が技術の発達や新たなニーズなど学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて探究心を持ちつつ自律的かつ継続的に新しい知識・技能を学び続け、子供一人一人の学びを最大限に引き出す教師としての役割を果たしている。その際、子供の主体的な学びを支える伴走者としての能力も備えている。

京都市立堀川高等学校常勤講師

京都市立伏見工業高等学校教諭 新規採用

そもそも、なんとなく

わかると笑顔になる

「これ、なんぼになるん？」

京都市立堀川高等学校教諭

京都市教育委員会指導主事

京都市立堀川高等学校教頭

京都市立堀川高等学校校長

京都市教育委員会教育企画監

大谷大学文学部教授・関西国際大学学長補佐

（福井大学教職大学院客員教授・

国立高等専門学校機構監事・兵庫教育大学理事）

学校で学ぶことは何の役に立つのか？

### 視座 物事を見る立場

視点 ①視線が注がれる所  
②物事を考える立場（以上、明鏡国語辞典）

観 物の見方・考え方。（デジタル大辞泉）

省察(reflection)することが重視されるが、  
その際、自分の「視座」「観」を問うてみるのが  
重要ではないか？  
逆に、省察する際に「視座」「観」が認識されると  
言えるかもしれない。

先生は教えた。  
子どもは学んでいるか？

### 目標－現状＝課題

目標は現状の裏返し。現状が変容すれば、  
目標の見直しが必要。課題(解決しなければ  
ならない問題。すべき仕事)も変わる。

**児童生徒の現状・学校の現状**を把握し、  
目標を設定する。

その際、言語化(文字化)して共有し、  
振り返って改善しつつ取り組む。

## 現状

### メタ(高次の)認知

自分の認知活動を客観的にとらえる。

自らの認知(考える・感じる・記憶する・判断するなど)  
を認知すること。

### 組織としてのメタ認知

気づいたこと(見た・聞いた・感じた・考えた)  
を出し合う。

コミュニケーションが必要になる。  
しかし、コミュニケーションは難しい。

みんなちがつてみんないい 金子みすゞ  
みんなちがつてたいへんだ 平田オリザ

### 言葉の定義と共有

……対話のための共通言語を持つために

教育課程／カリキュラム・マネジメント

評価／学習評価

キャリア教育／キャリア・パスポート／職業教育

主体的・対話的で深い学び

主体性／探究 学習意欲

学力／基礎学力 資質・能力

安全／安心 幸福感／充実感／成就感

スクール・ポリシー ……………

バベルの塔になっていないか？

- 話そう、話したいと思う場であるか？  
「わたし」はそういう相手であるか？
- (教室・職場で)対話の場をどうつくるか？  
対話の生まれる関係をどうつくるか？
- 相手は／自分は、言えるか／聞けるか？  
「わからない」「できない」「どうして」  
「違うと思う」「待つよ」「待って」  
「これはどう」「自分の夢」「相手の夢」  
「手伝おうか」「一緒にしよう」「助けて」

対話とはどういうものか？

相手を尊重するコミュニケーションか？

この時間の予定 14:05～15:35～15:55

1. 少し長い自己紹介
2. 視座について考える(思索の時間)
3. 自立した学習者に育てる  
令和3年・4年答申／学習指導要領「前文」
4. 豊かな学びの場をつくる(思索と対話の時間)  
目標－現状＝課題  
現状はどうか？ 課題にどう取り組むか？
5. 「教育へのリスペクト」
6. 質疑応答(15:35～15:55)

ご自身の視座についてお考えください。

「これまで」「いま」「これから」  
言葉にして書いてみてください。  
交流はしていただきません。

この時間の予定 14:05～15:35～15:55

1. 少し長い自己紹介
2. 視座について考える(思索の時間)
3. 自立した学習者に育てる  
令和3年・4年答申／学習指導要領「前文」
4. 豊かな学びの場をつくる(思索と対話の時間)  
目標－現状＝課題  
現状はどうか？ 課題にどう取り組むか？
5. 「教育へのリスペクト」
6. 質疑応答(15:35～15:55)

### 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して

～全ての子供たちの可能性を引き出す、  
個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(答申) 2021年1月26日中央教育審議会

「はじめに」から

ここでは、ICTの活用と少人数によるきめ細かな指導体制の整備により、「個に応じた指導」を学習者視点から整理した概念である「個別最適な学び」と、これまでも「日本型学校教育」において重視されてきた、「協働的な学び」とを一体的に充実することを目指している。さらに、これを踏まえ、各学校段階における子供の学びの姿や教職員の姿、それを支える環境について、「こうあってほしい」という願いを込め、新学習指導要領に基づいて、**一人一人の子供を主語にする学校教育の目指すべき姿**を具体的に描いている。

### 一人一人の子供を主語にする学校教育

子どもが学び、学び合う学校

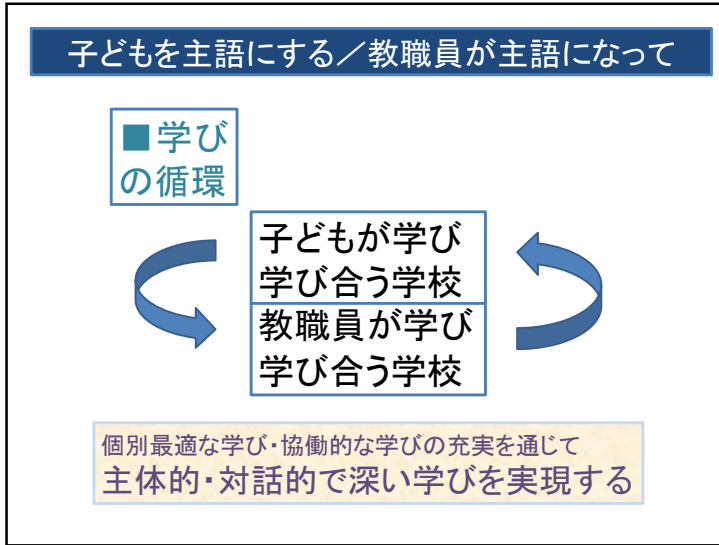


教職員が学び、学び合う学校



教職員の新しい学び(研修)の在り方

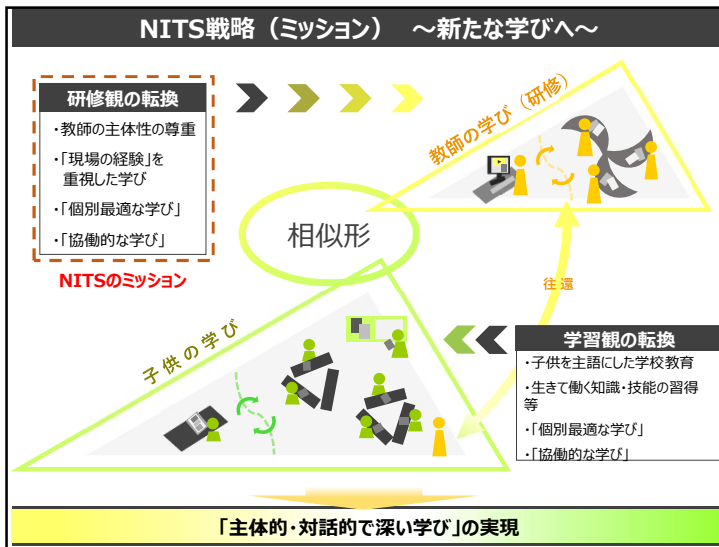
- 一人ひとりの教職員にとって、
- 個別最適な学び・協働的な学び
  - 主体的・対話的で深い学び
  - 体系的・計画的(即応も)
  - 多様な学び



『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について(答申)～「新たな教師の学びの姿」の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成～  
2022年12月19日 中央教育審議会

総論「4.(1)「新たな教師な学びの姿」の実現」から

個別最適な学び、協働的な学びの充実を通じて、「主体的・対話的で深い学び」を実現することは、児童生徒の学びのみならず、教師の学びにも求められる命題である。つまり、**教師の学びの姿も、子供たちの学びの相似形である**といえる。



どんな学び手に？

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(答申) 2021年1月26日  
第I部総論 2. 日本型学校教育の成り立ちと成果、直面する課題と新たな動きについて (3) 変化する社会の中で我が国の学校教育が直面している課題

公立学校の設置者を対象とした文部科学省の調査では、ICT環境の整備が十分でないこと等により、このような状況で学びの保障の有効な手段の一つとなり得る「同時双方向型のオンライン指導」の実施状況は、公立学校の設置者単位で15%に留まっている。また、学校の臨時休業中、子供たちは、学校や教師からの指示・発信がないと、「何をして良いか分からず」学びを止めてしまうという実態が見られたことから、これまでの学校教育では、**自立した学習者**を十分に育てられていなかったのではないかという指摘もある。

3. 2020年代を通じて実現すべき「令和の日本型学校教育」の姿  
(1) 子供の学び

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による臨時休業の長期化により、多様な子供一人一人が**自立した学習者**として学び続けていけるようになっているか、という点が改めて焦点化されたところであり、これからの学校教育においては、子供がICTも活用しながら自ら学習を調整しながら学んでいくことができるよう、「個に応じた指導」を充実することが必要である。

3. 2020年代を通じて実現すべき「令和の日本型学校教育」の姿  
(1) 子供の学び  
③ 高等学校教育

各高等学校においては、多様な生徒の興味・関心や特性、背景を踏まえて、特色・魅力ある教育活動が行われるとともに、特別な支援が必要な生徒に対する個別支援が充実しており、また、地方公共団体、企業、高等教育機関、国際機関、NPO等と連携・協働することによって地域・社会の抱える課題の解決に向けた学びが学校内外で行われ、生徒が**自立した学習者**として自己の将来のイメージを持ち、高い学習意欲を持って学びに向かっている。

## 自立か自律か

### 明鏡国語辞典

自立: 他からの支配や援助を受けず、自分の力だけで物事を行うこと。ひとりだち。

自律: 他からの支配や制約を排し、自分の立てた規律に従って自らを規制しながら行動すること。

### 新明解国語辞典

自立: ① 親からの経済的援助などを受けず、社会人として自分一人の力で生計を立てること。

② 他に依存することなく、自分自身の判断に基づいて責任を持った行動をとること。

自律: 自分で決めた規則に△従う(従い、わがままを抑える)こと。



自立とは、  
他からの援助を受けないことか？

### 自立した学習者

自分で考えて、判断して、行動できる、  
しようとする能力・意思を持つ。

- ……自己決定ができる。
- ……他者と協働できる。助け合える。

どうすれば、自立した学習者に？

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して  
～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、  
協働的な学びの実現～（答申）2021（令和3）年1月26日中教審  
「はじめに」から

ICTの活用と少人数によるきめ細かな指導体制の  
整備により、「個に応じた指導」を学習者視点から  
整理した概念である「個別最適な学び」と、これま  
でも「日本型学校教育」において重視されてきた、  
「協働的な学び」とを一体的に充実することを目指  
している。

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して  
 ～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、  
 協働的な学びの実現～(答申) 2021(令和3)年1月26日中教審  
 第1部総論「3」から

### 個別最適な学び

- 指導の個別化
- 学習の個性化

○ 全ての子供に基礎的・基本的な知識・技能を  
 確実に習得させ、思考力・判断力・表現力等や、  
 自ら学習を調整しながら粘り強く学習に取り組む  
 態度等を育成する**ためには**、  
 教師が支援の必要な子供により重点的な指導を  
 行うことなどで効果的な指導を実現する**ことや**、  
 子供一人一人の特性や学習進度、学習到達度等  
 に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な  
 提供・設定を行う**ことなどの「指導の個別化」**が  
 必要である。

○ 基礎的・基本的な知識・技能等や、言語能力、  
 情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の  
 基盤となる資質・能力等を**土台として**、  
 幼児期からの様々な場を通じての体験活動から  
 得た子供の興味・関心・キャリア形成の方向性等  
 に応じ、探究において課題の設定、情報の収集、  
 整理・分析、まとめ・表現を行う**等**、  
 教師が子供一人一人に応じた学習活動や  
 学習課題に取り組む機会を提供する**ことで**、  
**子供自身が学習が最適となるよう調整する**  
**「学習の個性化」**も必要である。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の  
 一体的な充実を図り、  
 主体的・対話的で深い学びを実現する。

高等学校学習指導要領解説総則編 第4章 教育課程の実施と学習評価  
第1節 教育課程の実施と学習評価 1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

(1) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善(第1章総則第3款1(1))

……………生涯にわたって能動的(アクティブ)に学び続けるように  
することが求められている。

- ① 学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「**主体的な学び**」が実現できているかという視点。
- ② 子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「**対話的な学び**」が実現できているかという視点。
- ③ 習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「**深い学び**」が実現できているかという視点。

## 主体的・対話的で深い学び

学び方を身に付け、  
自ら学び続けることのできる人に。  
自ら考え、判断して、行動できる人に。  
他者とともに学び合える人に。  
「自立した学習者」に。

自立した学習者が、  
自立した市民になる？

子どもに「学び」を委ねているか？

子どもは試行錯誤できているか？

【試行錯誤】(明鏡国語辞典)

さまざまな試みをくり返し、失敗を重ねながら目的に近づいていくこと。

【試行】(三省堂国語辞典)「一一錯誤」

- ①あれこれ試して、何度もやり直すこと。
- ②〔心〕学習の様式の一つ。失敗をかさね、だんだん適応すること。

【試行】(新明解国語辞典)「一一錯誤」

〔trial and errorの訳語〕

〔何かを行う場合に〕結果の完全な成功をはじめから必ずしも期待せず、失敗を重ねながら成功を収めること。  
〔研究・政策の実施についても言う〕

子どもは、本来有能な学び手だ。

NITSニュース／高橋純氏(東京学芸大学教授)

そもそも授業は、子供一人一人にしっかりと力をつけるためにある。学級集団の平均値が上がるのは間接的な結果にすぎない。子供一人一人が異なることもいうまでもない。したがって、授業は単線型(一斉)ではなく、一人一人に合わせた複線型が理想となる。これらを実現するために、個別最適な学びや、自由進度学習といった考え方がある。

そして、子供が生涯に渡って能動的に学び続ける力を身につけるのだと考える。つまり、子供がどのように学ぶかを教師が指示するのではなく、複線型のそれぞれで、子供自身が「学習内容」のみならず「学び方」も決めていくことが理想といえる。学習課題、学習過程、協働などを自己決定することになる。

ここまでは1980年代には理論的な完成を見ていただろう。しかし、授業には多くの子供たちがいる。一人一人を授業中に随時把握したりすることが難しく、一人一人といっても、抽出した子供を指名したり、観察したりすることで精一杯な面もあった。

現在は、「情報端末＋クラウド」で、教師は子供一人一人の様子を、随時、手軽に把握できるようになった。子供同士もお互いの様子を常に知ることができるようになった。協働的な学びも、子供自身が情報端末で得た他者の状況から、協働する相手とタイミングを決めるようになってきた。

教師が「班で話し合いなさい」と子供に協働の相手とタイミングを指示する「一斉協働」から見れば大きな変化である。子供は、情報端末を自在に使いこなし、大量の情報を適切に処理していく必要に迫られるが、こうした活動を支える基盤となる力が情報活用能力となる。

どうすれば自立した学習者に育つか？

- 1 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。
- 2 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 3 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- 4 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 5 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

## 高等学校学習指導要領 前文

教育は、教育基本法第1条に定めるとおり、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期すという目的のもと、同法第2条に掲げる次の目標を達成するよう行われなければならない。

これからの学校には、こうした教育の目的及び目標の達成を目指しつつ、一人一人の生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。このために必要な教育の在り方を具体化するのが、各学校において教育の内容等を組織的かつ計画的に組み立てた**教育課程**である。

教育課程 一人一人の <生徒／児童>が

<幼児が、将来、>

- 自分のよさや可能性を認識する
  - あらゆる他者を価値のある存在として尊重する
  - 多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越える
  - 豊かな人生を切り拓く
  - 持続可能な社会の創り手となる
- ことができるようにするため、各学校において  
組織的かつ計画的に組み立てたもの

自己肯定感

- 自分は、たいせつなひとりだ。
- いまの自分が自分のすべてではない。  
人間は学ぶことを通して成長する。
- 目の前の世界が世界のすべてではない。  
少し動けば世界は変わる。

自分には何ができるのだろうか？  
何かの役に立っているだろうか？  
自分はここにいていいのだろうか？

周りが気づかせる。支える。



評価

自分で気づく。考える。行動する。

自立

59

評価は相手への応援でなければ。

評価は、内発を促す外発。

○一人ひとりの学びを支え、促す評価

○気づきを生む評価

○評価の観点が共有された評価

評価はコミュニケーション。

完璧な評価などない。



自己肯定感が養えているか？

教育課程を通して、これからの時代に求められる教育を実現していくためには、よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという理念を学校と社会とが共有し、それぞれの学校において、必要な学習内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを教育課程において明確にしながら、社会との連携及び協働によりその実現を図っていくという、社会に開かれた教育課程の実現が重要となる。

学習指導要領とは、こうした理念の実現に向けて必要となる教育課程の基準を大綱的に定めるものである。学習指導要領が果たす役割の一つは、公の性質を有する学校における教育水準を全国的に確保することである。また、各学校がその特色を生かして創意工夫を重ね、長年にわたり積み重ねられてきた教育実践や学術研究の蓄積を生かしながら、生徒や地域の現状や課題を捉え、家庭や地域社会と協力して、学習指導要領を踏まえた教育活動の更なる充実を図っていくことも重要である。

生徒が学ぶことの意義を実感できる環境を整え、一人一人の資質・能力を伸ばせるようにしていくことは、教職員をはじめとする学校関係者はもとより、家庭や地域の人々も含め、様々な立場から生徒や学校に関わる全ての大人に期待される役割である。幼児期の教育及び義務教育の基礎の上に、高等学校卒業以降の教育や職業、生涯にわたる学習とのつながりを見通しながら、生徒の学習の在り方を展望していくために広く活用されるものとなることを期待して、ここに高等学校学習指導要領を定める。

自分のよさや可能性に気づける学校か？

どう実現するか？

「石橋を叩いて渡る」

考えて、実際にやってみる。

その際、リーダーシップが求められる。

『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について(答申)

各論「2.(4)校長等の管理職の育成及び求められる資質能力の明確化」から

校長に求められる基本的な役割は、校務をつかさどり、所属職員を監督することであり、その職務を遂行する上では、学校経営方針の提示、組織づくり及び学校外とのコミュニケーションの3つの重要性が高まっている。

これらの基本的な役割を果たす上で、校長には、教師に共通的に求められる資質を基礎として、従前より求められている教育者としての資質や的確な判断力、決断力、交渉力、危機管理等のマネジメント能力に加え、これからの時代においては、特に、様々なデータや学校が置かれた内外環境に関する情報について収集・整理・分析し共有すること(アセスメント)や、学校内外の関係者の相互作用により学校の教育力を最大化していくこと(ファシリテーション)が求められる。

『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について(答申)

各論「2.(4)校長等の管理職の育成及び求められる資質能力の明確化」から

また、校長のマネジメントについても、学校で働く人材の多様化が進む中で、職場の心理的安全性を確保し、働きやすい職場環境を構築するとともに、教職員それぞれの強みを活かし、教師の働きがいを高めていくことが一層求められる。

『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について(答申)

総論「4.(2)②多様化した教職員集団のマネジメント」から

学校管理職のリーダーシップの下で、目標の明確化、心理的安全性の確保、教職員の経歴・背景の多様性を考慮したマネジメントなども不可欠である。

特に「心理的安全性」の確保は、様々な課題に対応できる質の高い教職員集団を形成するために不可欠である。働き方改革を通じて学校全体が抱える業務量を見直し、安全・安心な勤務環境を実現するのみならず、萎縮せずに意見を述べたり、前例や実績のない試みに挑戦する教師を支援できる環境を醸成したりすることで、学校内外で発生した問題を教職員が一人で抱え込むことなく、組織としてより最適な解を導き出すことが可能になる。

## 2022(令和4年)12月 中教審答申で示された 校長に求められる資質能力

### マネジメント能力

従前より求められている教育者としての資質や的確な判断力、  
決断力、交渉力、危機管理等のマネジメント能力に加え、これ  
からの時代においては、特に、

### アセスメント

様々なデータや学校が置かれた内外環境に関する情報について  
収集・整理・分析し共有すること（アセスメント）や、

### ファシリテーション

学校内外の関係者の相互作用により学校の教育力を最大化して  
いくこと（ファシリテーション）が求められる。

## マネジメント能力

教育者としての資質や的確な判断力、決断力、  
交渉力、危機管理等のマネジメント能力

### やるべきことを実現する

- できない理由を探すのではなく、  
実現させる方法を考える
- 最初から完璧をめざさない
- 途中で軌道修正できる柔軟性を持つ
- 他者に助けを求めるのは恥ではない

## アセスメント

様々なデータや学校が置かれた内外環境に関する  
情報について収集・整理・分析し共有すること

### 「想像力」を働かせる

- 情報源が偏らないよう気を配る
- 情報を鵜呑みにしない
- 「報・連・相」の心理的ハードルを下げる
- もしかしたら間違っているかも・・・
- 視座の把握、移動、拡幅

## ファシリテーション

学校内外の関係者の相互作用により学校の教育力  
を最大化していくこと

### 人を活かす

- 人を動かすのは使命感やリスペクト
- コミュニケーションは不全・誤解を前提に
- 日常的な発信が組織を方向付ける
- 関係構築は困ってからでは間に合わない
- チームをつくる

この時間の予定 14:05～15:35～15:55

1. 少し長い自己紹介
2. 視座について考える(思索の時間)
3. 自立した学習者に育てる  
令和3年・4年答申／学習指導要領「前文」
4. 豊かな学びの場をつくる(思索と対話の時間)  
目標－現状＝課題  
現状はどうか？ 課題にどう取り組むか？
5. 「教育へのリスペクト」
6. 質疑応答(15:35～15:55)

お考えをお書きください。

- 豊かな学びの場をつくる
- 目標－現状＝課題
- 学校の現状はどうか？
- どんな課題に、どう取り組むか？

- 話すことを前提にメモしてください。
- グループで交流していただきます。

グループで話し合ってください。

- ファシリテーターをお決めください。
- みなさんご発言なさってください。
- 全体での交流はいたしません。
- 豊かな学びの場をつくる
- 目標－現状＝課題
- 学校の現状はどうか？
- どんな課題に、どう取り組むか？

この時間の予定 14:05～15:35～15:55

1. 少し長い自己紹介
2. 視座について考える(思索の時間)
3. 自立した学習者に育てる  
令和3年・4年答申／学習指導要領「前文」
4. 豊かな学びの場をつくる(思索と対話の時間)  
現状はどうか？ どんな課題があるか？  
今後どんな展望が考えられるか？
5. 「教育へのリスペクト」
6. 質疑応答(15:35～15:55)

## 教育へのリスペクト

この言葉は、全国高等学校長協会会長で、東京都立桜修館中等教育学校長の石崎規生先生から伺ったものです。

学校関係者はもとより、社会全体が、人が育つ場、機会としての教育に対し敬意を持つこと、その場や機会がいつそう豊かなものになるよう必要な手立てを講じることが、望まれます。

さまざまな課題のある中ですが、これから生きる人が幸福に、豊かに、学び、育つことができるよう、「教育へのリスペクト」が広がり、確かなものになることを期待して、わたしも取り組みたいと思います。

やりがい＝居場所×出番×評価

- 「しなやかさ」と「したたかさ」
- 気に入って、心を込めて、力は抜いて
- ご自身の心と体の健康を

